

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和5年7月20日
奈良地方気象台

大阪管区気象台は、「近畿地方は梅雨明けしたと見られます」と発表しました。

近畿地方は、高気圧に覆われておおむね晴れています。向こう一週間も、引き続き高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、近畿地方は、7月20日ごろに梅雨明けしたと見られます。

なお、近畿地方の平年の梅雨明けは7月19日ごろ、昨年の梅雨明けは7月23日ごろ、平年の梅雨入りは6月6日ごろ、昨年の梅雨入りは6月14日ごろです。

(参考事項)

1. 梅雨入りを発表した5月29日から7月19日までの降水量の合計

観測所名	降水量の合計 (ミリ) ※1	平年値 (ミリ) ※2
奈良	379.5	325.9
針	411.0	380.0
田原本	382.0	311.8
曾爾	411.5	403.7
葛城	441.5	332.6
大宇陀	434.0	350.7
五條	512.5	341.6
吉野	500.5	336.1
天川	469.0) ※3	502.4
上北山	679.0	579.0
風屋	803.0	632.0
下北山	905.0	//※4
葛川	921.0	//※4

※1 「降水量の合計」は速報値であり、後日修正する場合があります。

※2 「平年値」は1991年～2020年の平均値です。

※3)は、準正常値(平均値や合計値に用いた資料の割合が80%以上の場合の値)です。

※4 //: 期間の不足等の理由により、統計値がありません。

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象で、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関するお知らせは、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表するものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本お知らせで発表した期日に変更となる場合があります。

問合せ先：奈良地方気象台 担当：坂元

<平日>

電話：0742-22-2556